



大船渡水産振興センター「復興板」

平成30年3月22日発行 第63号

1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

平成30年2月28日現在、管内の県営漁港関係施設にかかる災害復旧工事の進捗率は、72.8%となっています。(平成30年2月28日現在)

	災害査定 (H29再調査決定額)		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁 港	243	34,194,563	238	32,452,168	32,030,154	93.7	222
漁港海岸	11	35,568,708	11	23,402,270	18,588,995	52.3	3
漁 場	2	498,880	2	498,880	498,880	100.0	2
合 計	256	70,262,151	251	56,353,318	51,118,029	72.8	227

・ さっちゃんNEWS part1

3月1日、2日に東京で開催された「第23回全国青年・女性漁業者交流大会」(JF全漁連主催)において、陸前高田市の広田湾漁協女性部米崎支部が水産庁長官賞を受賞しました。発表テーマは「漁協女性部で育む漁業の担い手」であり、審査委員長から「地味ではあるが、その地域ならではの活動と丁寧な報告」という講評と共に、地域の発展に貢献している好事例として紹介されました。おめでとうございます。



(右上) 発表している大和田
支部長さん

(左下) 受賞を喜ぶ広田湾漁協
女性部の皆さん

『復興板』に関するお問い合わせ先
沿岸広域振興局水産部
大船渡水産振興センター (担当 佐藤)
岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階
TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229



2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況



「さけの子さっちゃん」は、大船渡水産振興センターのPRキャラクターです



(1) 共同利用施設・養殖施設の復旧状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。

事業年度	施設名	事業主体
平成29年度	作業保管施設 作業保管施設	綾里漁業協同組合 (完成) 広田湾漁業協同組合 (完成)

(2) 大船渡魚市場の水揚げ状況 (平成30年1月1日から2月末累計)

出典：いわて大漁ナビ

平成30年 (震災後)		平成29年 (震災後)		平成20年から平成22年の平均 (震災前)		前年比 (H30/H29)		震災前平均との対比	
数量(ト)	金額(千円)	数量(ト)	金額(千円)	数量(ト)	金額(千円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
3,456	364,862	1,181	172,830	1,219	202,526	292.6	211.1	283.5	180.2

2月は主に、マイワシ(1,157トン、75,659千円)、イサダ(783トン、65,051千円)

タラ(30トン、9,779千円)などが水揚げされています。

出展：大船渡魚市場(株)魚市場取扱高月報

・ さっちゃんNEWS part2

2月22日にイサダ漁が解禁となり、大船渡市魚市場で初水揚げがありました。初日の大船渡市魚市場での水揚げ量は176トンで、幸先の良いスタートを切りました。2年連続不漁でしたので、今漁期は豊漁が期待されます。

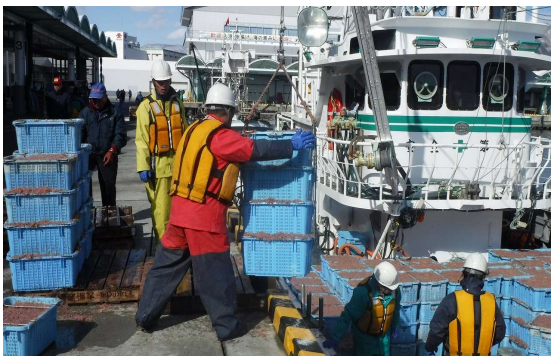
(イサダとは?)

標準和名を「ツノナシオキアミ」といい、名前のとおりオキアミの一種です。形も味もエビに似ていますが、エビではありません。近年、栄養面・機能面で優れていることが分かってきて注目されています。大船渡市魚市場では県内のイサダの約5割が水揚げされており、春先の重要な魚種となっています。



(左)水揚げされたばかりの新鮮なイサダ。透明できれいなピンク色。

(下) 初日は24隻が出漁し、どの船もほぼ満船状態。



★★★スマイル130 (いちさんまる) プロジェクトについて★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を(県外、世界に)届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の気持ちを盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、